

令和6年度 釜石祥雲支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～勤務負担を軽減し、自信とやる気をもって働ける職場環境づくり～

釜石祥雲支援学校学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

【定量的現状】

- ◆時間外在校等時間が年360時間を超えて勤務をした者は、対象教職員 51人中28人で、54.9 %の割合 (R4年度67.3%)。人数は7名減少 (R4比)
- ◆年間5日以上 of 年次休暇を取得した教員の割合は92.6%
- ◆月・木曜日の「Me-time」(校舎の鍵を貸し出さず警備員が施錠)、金曜日の「定時退庁日」の意識化により時間外在校等時間が約4時間30分縮減 (R4比)

【定性的現状】

○教職員の意識

- ・「Me-Time」の取組が全教職員で意識化されている。
- ・時間外勤務している教職員が固定している。

○管理職のマネジメント

- ・教職員の業務負担軽減に向けて現在の業務の進め方等見直しが必要なこと(会議の設定曜日、業務が進めやすいように授業時間短縮)について分析し、業務見直しに向けて検討している。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を25時間とすることを目指します。【R5:29時間41分】
- 5日以上年次休暇(1暦日以上 of 単位での取得)の教職員の割合を95%にします。

【目指す姿】

- ・教職員が授業の構想づくりや教材作成に十分な時間を割き、より質の高い教育の提供に努められる観点から働き方の見直しが図られている。
- ・教職員一人ひとりが、心身ともに健康な状態で勤務し、仕事に対する自信とやりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- ・教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・管理職が、年次について積極的に呼びかけを行います。・毎月の教職員一人ひとりの時間外在校等時間を知らせることに取り組みます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・職員会議のオンライン実施や各種会議の内容に応じて書面での開催する等会議にかける準備・時間を縮減し、時間や印刷物の提供など無駄を省きながら効率よく取り組みます。・ICTを活用することで業務に係る時間の削減に努めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう資料提示をします。・印刷、製本等の事務作業をスクールサポートスタッフの効果的な活用により縮減させます。
令和6年度重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・分掌組織体系、諸会議・委員会の見直しを行い、教職員の負担軽減を進めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のホームページに掲載するとともに、会議等を通じて教職員に周知します。
- ・学校運営協議会において、資料として提示し、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。